



質問：建築協定による町並みの事例として赤瓦の町並みが紹介されていましたが、宜野湾でもコンセプトカラーを決めて他県から来た方でも「あれが宜野湾のカラー」だと視覚的に訴えるいい材料と思うがどうでしょうか？

回答：素晴らしいご意見だと思います。那覇市は市のカラーを「コーラルホワイト」と決めて、空港からきた際に、沖縄県の玄関口として最初に見えてインパクトがあるということで旭橋再開発地区でとり入れられています。宜野湾市の場合も勉強会等を通じて皆さんでいろいろ議論されてまちのカラーを決めていけばよいのではないのでしょうか。



質問：今回講演頂いた首里の建築協定を作成する場合、どういう風に意見をまとめて建築協定を作成していったのでしょうか？

回答：結論から言いますと建築協定に携わる方が2～3人と少なかったことがあります。たしかに屋根に赤瓦を乗せたり生け垣を作ったりするとお金がかかりますが、夢を持っている方や説得力のある方が数人いて、平均的な町並みではなく、こうでありたいというまちの姿を出せばまちづくりも成功すると思います。

5. 地主会会長のあいさつ

皆さまから軍用地の新たな20年契約の同意をいただきまして、現在95%の方に提出いただいております。我々は20年に1度の国との交渉で様々な条件を提示しながら沖振法・軍転法に変わる新たな法整備のために沖縄県と連携しながら内閣府や防衛省と折衝を行っています。

現時点では返還がいつになるのか国からの正式な回答もなく、普天間飛行場の移設問題も迷走しており今後どうなるかわかりません。

しかし、返還時期が見えないから今は何もやらなくてもいいという意見もありますが本日のこういった素晴らしい講演会にもまだまだ一部の方しか参加していません。

我々が国と折衝する中で、地権者の顔が中々見えない、本当に地権者の方々が関心を持っているのか、県と一体となった体制ができていいのかとよく聞かれます。今回お願いしているアンケートもそうですが、皆さんの意見等を集約することにより、我々宜野湾の地権者は返還のことについてこれだけ関心があるという声を国に示すことができます。

現在、返還時期はわかりませんが、いずれは返還されます。いつ返還されてもすぐにまちづくりに取り組めるように、子や孫のために素晴らしいまちができるように勉強会等は続けていきます。

それが我々の責務であると思いますので、これからも皆さんと協力していきながら、素晴らしいまちができるように頑張っていきますので、皆さんのご協力をよろしくお願いします。

地主会会長挨拶



今回の懇談会の参加者は25名でした。

今後も、まちづくり活動への参加など、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

ニュース等に関する問い合わせ

宜野湾市基地政策部基地跡地対策課 担当：新垣、名幸

TEL：098-893-4401(直通) FAX：098-892-7022

キャンプ瑞慶覧返還予定地区 まちづくりニュース

発行：宜野湾市基地政策部基地跡地対策課

2011年(平成23年)2月

TEL 098-893-4401(直通)

Vol. 27

《本号の概要》

平成22年度まちづくり活動についてご確認ください。

キャンプ瑞慶覧返還予定地区は、確実に近づいている返還に向けて、地権者の皆さんを主役にまちづくりを進めています。

今年度も『いつ返還されても、円滑なまちづくりが出来る用意を整える』ために、まちづくり活動を行ってきました。

平成23年2月17日(木)には、【平成22年度第2回まちづくり懇談会・まちづくり講演会】を開催しました。

本号では、会議の結果及び講演会の内容を簡単にご報告します。

1. 現在の状況報告
2. 今年度のまちづくり活動について
3. 地権者アンケート(意向調査)の実施について
4. まちづくり講演会の開催について
5. 地主会会長のあいさつ



会場風景

1. 現在の状況報告(市基地政策部より)

基地政策部次長挨拶



瑞慶覧地区のまちづくりは平成15年に跡地利用計画を策定して以来、継続して事業化への取り組みを行ってきましたが、平成18年の日米合意による米軍再編に伴う普天間飛行場の移設と関連しており、返還時期が不透明となっています。

そのような中、沖縄県が昨年度策定した「沖縄21世紀ビジョン」では嘉手納飛行場以南の大規模返還に向けて、中南部都市圏の県土再編等の広域的な構想のもとにそれぞれの跡地の役割等について明記されています。また、沖縄振興特別措置法が来年度で期限切れとなることから、新たな法制度等の導入に向けて沖縄県と連携し様々な要請等を行っています。

宜野湾市としても返還時期が不透明な中、市長を先頭に国の関係機関等に普天間飛行場移設問題の早期解決の要請を行い、いざ返還された場合に跡地利用が円滑に行えるよう引き続き勉強会等を継続していきますので、今後とも皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

2. 今年度のまちづくり活動について

1. まちづくり勉強会の開催

今年度は、平成14年度から取り組んできました瑞慶覧まちづくりの集大成として、また、今後参画する地主や市民の皆さまの基礎資料となる「瑞慶覧まちづくりハンドブック」の作成に向けてとりまとめを行っています。

まちづくり勉強会の内容

- 第1回勉強会（平成22年11月4日） テーマ：今年度の活動予定の確認
「瑞慶覧まちづくりハンドブック」に盛り込む項目について意見交換しました。
- 第2回勉強会（平成22年11月25日） テーマ：ハンドブックの目次・構成について
「瑞慶覧まちづくりハンドブック」の目次・構成について意見交換しました。
- 第3回勉強会（平成22年12月16日） テーマ：ハンドブックの掲載内容について
「瑞慶覧まちづくりハンドブック」の掲載内容について意見交換しました。
- 第4回勉強会（平成23年1月20日） テーマ：地主が感じているまちづくりの疑問や不安について
今までのまちづくり活動で確認している地主からの疑問や不安について確認し、意見交換しました。

◆「瑞慶覧まちづくりハンドブック」には以下の内容を掲載する予定です。
（今回のアンケート結果を反映させ、次年度に作成する予定です。）

《第1編 入門編》

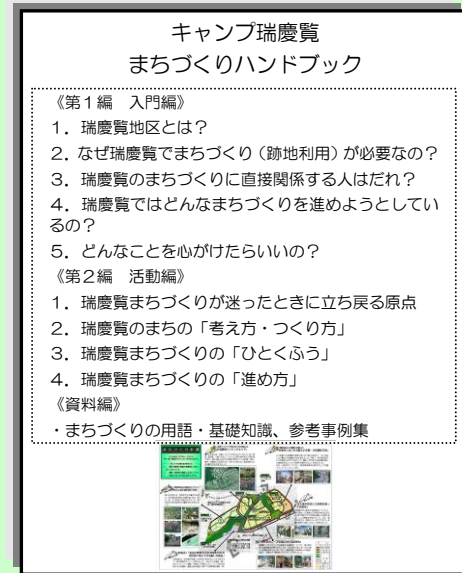
1. 瑞慶覧地区とは？
2. なぜ瑞慶覧でまちづくり（跡地利用）が必要なの？
3. 瑞慶覧のまちづくりに直接関係する人はだれ？
4. 瑞慶覧ではどんなまちづくりを進めようとしているの？
5. どんなことを心がけたらいいの？

《第2編 活動編》

1. 瑞慶覧まちづくりが迷ったときに立ち戻る原点
2. 瑞慶覧のまちの「考え方・つくり方」
3. 瑞慶覧まちづくりの「ひとくふう」
4. 瑞慶覧まちづくりの「進め方」

《資料編》

- ・まちづくりの用語・基礎知識、参考事例集
- ・瑞慶覧まちづくりに関するQ&A など



まちづくりは継続的に地権者の皆さんが取り組んでいくことが大事です。
地権者の皆さまだけでなく、ご家族の方にも勉強会にお気軽にご参加いただきたいと考えております。お忙しいとは存じますが、ご家族のかた、お知り合いの地権者のかた、皆さまお誘い合わせのうえ、どうぞお気軽にご参加くださいますようお願いいたします。
参加を希望なさる方は、このニュース裏面の連絡先までご連絡お願いいたします。
【勉強会の様子】



2. 「瑞慶覧VR」の更新

※VRとは・・・人工的に現実感をつくりだすこと

「瑞慶覧VR」を更新し、将来的な瑞慶覧地区のイメージをより視覚的に確認できるようになりました。

ぎのわん多自然型住宅地のイメージ



瑞慶覧ハウジングエリアのイメージ

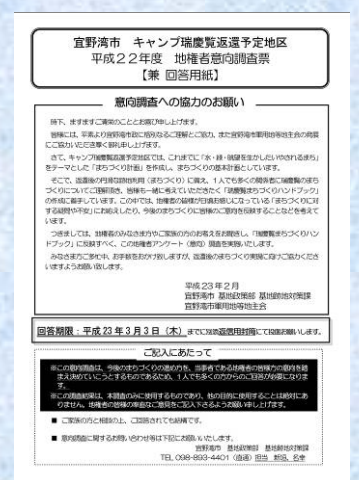


3. 地権者アンケート（意向調査）について

「瑞慶覧まちづくりハンドブック」に皆さまの意見を反映するため、地権者の方やそのご家族の方を対象としたアンケート調査（意向調査）を実施しています。

このアンケートは、返還後の円滑なまちづくりに備え、1人でも多くの関係者に瑞慶覧のまちづくりについて理解いただき、一緒になってまちづくりを考えていく上で皆さまが日頃お感じになっている「まちづくりに対する疑問や不安」にお応えし、皆さまのご意向を反映することを目的としています。

ご多忙の中、お手数をおかけしますが、アンケートのご記入・ご提出のご協力をお願いいたします。【回答期限3月3日（木）】



4. まちづくり講演会の開催について

●有識者を招き、今後の瑞慶覧地区のまちづくりの参考となる講演をしていただきました。

講師：中本 清 氏（社団法人沖縄県建築士会 会長、沖縄県建築設計サポートセンター 理事長）

講演テーマ：“環境／景観”～アジアの都市戦略として～

講演内容：風水思想を取り入れた沖縄の歴史に学ぶまちづくりや自然エネルギー（風・光・熱）を活かしたまちづくりについて、建築士としての視点から海外や沖縄県内での事例を交え、これからの環境／景観に配慮したまちづくりの提案についてご講演いただきました。



講演会風景

